



1925年(大正十四年)七月六日

○ 示申の豫定に合ひし時満ちて内村鑑三は日本國に生る。直ちに聖靈の導きに従いて苦難試煉の荒野に長い間身軀心靈の鍛煉に過ごし、進んで聖書全篇の啓示に浴いてキリストの福音の真髓に徹し、川原次之と世に公表して六十五齡に達した。茲に身長を越ゆる浩瀚の己が著書を積み重ねてその側に立ち、全幅を一貫せる十字架の真義を仰ぎて感謝讚歎に堪えざる先生の嚴かなる姿容と熟視して、余亦その祝意歡喜の一端を分與せらるゝ好感を懐かしめらる。

先生の愛顧に終始承り 本帖編集者  
野人 齋藤三新  
八十七號